

夢に向かって、地域と共に伸びる子供たち

下関市立関西小学校

学校運営協議会について

- ・主な協議内容
 1. 学校運営方針
 2. 学校の課題・地域の課題の共有
 3. 学校評価について
 4. 学力調査について
 5. 学校と地域の合同運動会の実現について



学校運営協議会での熟議

特色ある活動

- ・おはピカday
中学校区内の3小中学校と1高等学校が一斉に通勤・通学時間帯にあいさつ運動と美化活動を行う。
- ・小中合同クリーン作戦
中学生が小グループのリーダーとなって、小学生と中学生がいっしょに地域の清掃活動を行う。
- ・夏休みの学習会
中学生が先生役で小学生に勉強を教える。
- ・公民館文化祭
土曜日を授業日に変更し、全校児童で出演する。
- ・リトル釜山フェスタ（地元商店街のお祭り）
CSコーディネーターの引率で、地域の祭りに出演する。（一部の児童）
- ・関西小コムスクメール
毎週金曜日に翌週の学校の行事や、ボランティアの募集等の情報を保護者と地域宛にメール配信する。



小中合同クリーン作戦



中学生ティーチャー

来年度に向けて

地域連携の推進と業務改善の両立を図る。そのために、CSコーディネーターなど外部の人材が活動をリードしていく体制をつくる。

校務分掌の中に複数の地域連携担当者を位置づけ、過重負担にならずに連携が進む校内体制づくりを行う。



おはピカday

「文洋校区でめざす子ども像」の実現をめざして

下関市立桜山小学校

学校運営協議会について

①実施回数

学期に1回（夏季休業中に1回）開催

②主な協議内容

- ・本年度の活動について（6月12日）
- ・全校研究授業及び授業検討会への参加（6月26日）
- ・プロジェクト別協議（8月21日）
- ・熟議「文洋校区でめざす子ども像の実現に向けて」（9月17日）
- ・全校研究授業及び授業検討会への参加（10月11日）
- ・本年度の反省及び来年度へ向けて（2月）

③コーディネーターの活動

- ・毎週金曜日の午前中、翌週の絵本読み聞かせ「絵本 DE 笑顔」のボランティア手配及び確認を行っている。
- ・每学期1回水曜日の放課後に、放課後子ども教室「桜山小さくらんぼ」を実施した。

1学期「クライミング体験」 2学期「音楽鑑賞会」



↑ 校内研修への参加のようす



↑ さくらんぼ「音楽鑑賞会」

特色ある活動

◆熟議の実施

実施日：令和元年9月17日（火）18：00～

テーマ：「文洋校区でめざす子ども像の実現に向けて」

参加者：38名 文洋校区小中学校運営協議会委員

文洋校区連合運営協議会で、3つのプロジェクトチームに分かれ熟議を行った。児童生徒の現在の様子についての情報交換を行い、めざす子ども像の実現に向けてそれぞれのプロジェクトで今後の具体的な取組について検討した。

◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

毎月、文洋中学校区1中学校・2小学校で共通して挨拶・ゴミ拾い運動「おはピカ DAY」を行っている。また、6月には文洋中学校生徒と桜山小学校児童合同の「クリーン作戦」を実施した。

◆地域の方の学校支援活動

地域の方や保護者に各教科の授業やクラブ活動の学習支援していただいている。教科では、高学年の家庭科の調理実習・ミシンの作業での支援や、低学年の生活科で行った地域学習の際に引率補助をしていただいた。またクラブ活動では、地域の方の専門性を生かして茶道クラブの指導をしていただいている。



↑ 文洋校区連合運営協議会



↑ クリーン作戦

来年度に向けて

- ・学校が主体となって行っている活動、地域が行っている行事について互いに情報発信を行いそれぞれの取組への積極的な参加を促す必要がある。
- ・地域の高齢者とのつながりを大切にしながら、地域の大人がしっかりあるべき姿（言葉遣い・挨拶など）を子供たちに示していきたい。

地域が育てる目の前の学校 学校が育てる目の前の子どもたちの未来

下関市立文洋中学校

学校運営協議会について

○文洋校区連合運営協議会（関西小学校・桜山小学校・文洋中学校）R元.9.17 実施

- ・小中連携の趣旨について
- ・熟議 「文洋校区でめざす子供像の実現に向けて」
～家庭や地域の教育力を高めるために～

《文洋校区でめざす子供像》

スローガン；『夢に向かって、地域と共に伸びる文洋っ子』

豊かな心プロジェクト：子供たちが安心して地域の方と顔見知りになるために、家庭や地域での自発的なあいさつを呼びかける。また、学校の活動が地域とつながる活動になるために、学校・地域双方からのPR活動を充実させる。

確かな学びプロジェクト：小中で連携・共通して、勉強の大切さを伝えていく。基礎・基本とともに、人と話せる力（コミュニケーション能力）を高めていく。

健やかな育ちプロジェクト：美・礼・時・立腰をしっかりと行う。スマホ・ゲーム機による悪影響が見られることから、市のルールを参考にした家庭でのルールづくりを促す。小・中・地域が連携して、家族が積極的に参加できる魅力的な活動を計画する。

特色ある活動

○地域教育ネット（まちづくり協議会）との連携

Kananowa というボランティア団体を中心になって行う照子親（てらこや）活動では、小学生から中学生までの幅広い発達段階の児童・生徒に学習支援や、体験支援を行っています。長期の休業中には約100名の小中学生に学習支援を行い、昼食は本校の家庭科室で毎日手作りしたものを提供しています。

本校生徒は、小学生を指導する立場で関わっており、自己有用感の育成につながっています。

○小・中・高連携の地域貢献活動（おはピカ Day、美化ボランティア）の推進

「おはピカ Day」は、毎月11日に校区内の小・中・高等学校が連携して行う「あいさつ&ゴミ拾い運動」です。「美化ボランティア」は、中学生が小学生と一緒に小学校校区のゴミ拾いを行う活動です。

どちらも地域貢献の活動として定着しており、生徒のボランティア精神の育成につながっています。



照子親



おはピカ Day

来年度に向けて

どの取組もこれまで時間を掛けて定着してきた活動ですが、「例年通り」の取組になってしまいがちです。それぞれの活動の目的を生徒にしっかり考えさせ、何のためにこの活動を行うのかを理解させた上で、今後も継続していきます。